

7 文庁第 1 7 9 9 号
令和 7 年 6 月 2 5 日

各 都 道 府 県 知 事
各都道府県教育委員会教育長
各 政 令 指 定 都 市 市 長 殿
各政令指定都市教育委員会教育長
各 国 公 私 立 大 学 長
各 公 私 立 短 期 大 学 長

文 化 庁 次 長
合 田 哲 雄

令和 7 年度国語問題研究協議会の開催について（通知）

文化庁では、国民の国語に対する関心を高めるとともに、国語施策の充実に資するため、毎年度、国語問題研究協議会を開催しています。令和 7 年度は、別紙開催要項のとおり、東京会場において開催することになりました。

ついては、開催の周知及び参加希望者に対する御配慮をお願いします。開催の周知の際には、学校における働き方改革の観点からその範囲及び方法について、全ての学校に一律に周知する以外にも、例えば、他の案件とまとめて周知する等、必要に応じて御判断いただきますよう、お願い申し上げます。

また、申込不要で後日のオンデマンド配信も予定しています。

なお、当日参加の申込みについては、参加者が各自で申し込む方式です。

※ 参加申込方法や本研究協議会の詳細は下記 URL を御覧ください。

URL:https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kokugo_shisaku/kyogikai/index.html



← こちらから
上記 URL を御覧
いただけます。

本件担当 文化庁国語課
国語調査官 町田 亘
〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2
TEL 03-5253-4111(代) 内線 2842
E-mail kokugoiken@mext.go.jp

令和7年度 国語問題研究協議会 開催要項

1 趣 旨

我が国の国語施策について周知するとともに、国語をめぐる諸問題を取り上げ、改善の方法等について研究協議し、国語に対する関心を高めるとともに国語施策の充実に資する。

なお、本協議会は、国の国語施策の一環として、その普及と理解の促進を狙いとしている。

2 主 催

文化庁

3 開催方法及び開催場所

下記会場における対面開催（後日オンデマンド配信）

会場：品川区立総合区民会館「きゅりあん」7階 イベントホール
（東京都品川区東大井 5-18-1）

4 開催日

令和7年8月5日（火）

5 日 程

13:00	13:10	13:40	14:50	15:10	16:20	16:30
開 会 挨 拶	国語に関 する 審議状況 報告	各登壇者からの 提言	休憩	シンポジウム	閉 会 挨 拶	

※上記日程は都合により変更することがある。

6 内 容

- （1）テーマは「日本語の文字の課題と可能性」とする。
- （2）テーマについての理解を深めるため、有識者による提言及びシンポジウムを実施する。

○ 提言・シンポジウム登壇者（五十音順、敬称略）

佐藤 栄作（愛媛大学名誉教授）

高田 裕美（株式会社モリサワ 書体デザイナー）

山本 真吾（東京女子大学教授）

シンポジウム司会：武田 康宏（文化庁 主任国語調査官）

7 参加者

会場参加者の範囲は、主として次のア～オに該当する方とする。また、国語に関心のある一般の方に対して、後日、会場の様子をオンラインで視聴できるようにする。

ア 指導主事及び幼児教育・初等中等教育諸学校の教職員並びに大学等の教職員

イ 社会教育関係者、図書館関係者、報道・出版関係者

ウ 国及び地方公共団体の職員で、公文書の作成指導又は広報資料の作成に携わる者

エ 学校教育及び社会教育に携わるボランティアメンバー

オ その他、教育や企業研修等に関わっている者

8 参加・視聴登録方法

文化庁ウェブサイト（下記 URL）に示される参加・視聴登録方法に従って、本人が直接文化庁に申し込む。会場の収容人数の都合により、申込者の中から約 80 名までが参加可能となる。

http://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kokugo_shisaku/kyogikai/index.html

9 その他

趣旨における国語施策の周知については、上記文化庁ウェブサイトを示すリンク先でテーマ別の紹介動画を公開する形で実施する。

○ 国語施策の紹介動画

- ・ 国語施策について
- ・ 「敬語の指針（答申）」
- ・ 「常用漢字表（内閣告示）」
- ・ 「常用漢字表の字体・字形に関する指針（報告）」
- ・ 「分かり合うための言語コミュニケーション（報告）」

令和7年度

国語問題研究協議会

日本語の文字の課題と可能性

CHECK!

—— 言葉、文字・活字文化を見つめ直す ——

日本語は漢字、ひらがな、カタカナ、英数字といった
様々な文字種を日常的に使用する点で、世界でも珍しい言語です。
日本語の文字について改めて考えてみませんか。

開催方法 会場(裏面記載)での対面開催(事前申込制)
後日オンデマンド配信(申込不要)

主 催 文化庁



各分野を代表する有識者3名を迎えて開催するシンポジウム

五十音順・敬称略



佐藤 栄作

- 愛媛大学名誉教授
- 松山坊っちゃん会会長
- 元文化審議会国語分科会委員

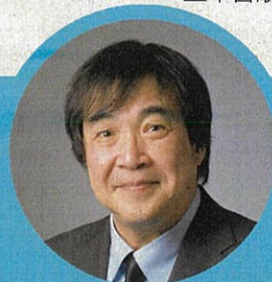
附属中学校・高等学校校長の
経験あり。
著書に「見えない文字と見える
文字 文字のかたちを考える」
(三省堂)等。



高田 裕美

- 株式会社モリサワ UD担当
ブランドエキスパート
- 「UDデジタル教科書体」
「BIZ UDゴシック/明朝」
チーフ書体デザイナー

著書に「奇跡のフォント 教科書
が読めない子どもを知って—
UDデジタル教科書体 開発物語」
(時事通信社)。2024年 佐藤敬
之輔賞 個人部門を受賞。



山本 真吾

- 東京女子大学教授
- 日本漢字学会会長
- 文化審議会国語分科会委員

著書に「例解学習漢字辞典第9
版」(共編著、小学館)、「図解日
本の文字」(共著、三省堂)、「ド
ラえもん探求ワールド 漢字の
ひみつ」(監修、小学館)等。

武田 康宏
(司会進行)

文化庁主任国語調査官
「常用漢字表の字体・字形に関する指針」の審議に携わる。

プログラム詳細・申込方法は裏面を御覧ください。▶

タイムテーブル

8月5日(火) 午後1:00～4:30

1:00～1:10	開会挨拶
1:10～1:40	国語に関する審議状況報告
1:40～2:50	シンポジウム登壇者からの提言
2:50～3:10	休憩時間
3:10～4:20	シンポジウム (登壇者：佐藤栄作・高田裕美・山本真吾)
4:20～4:30	閉会挨拶

プログラムは都合により変更になる場合があります。

シンポジウム

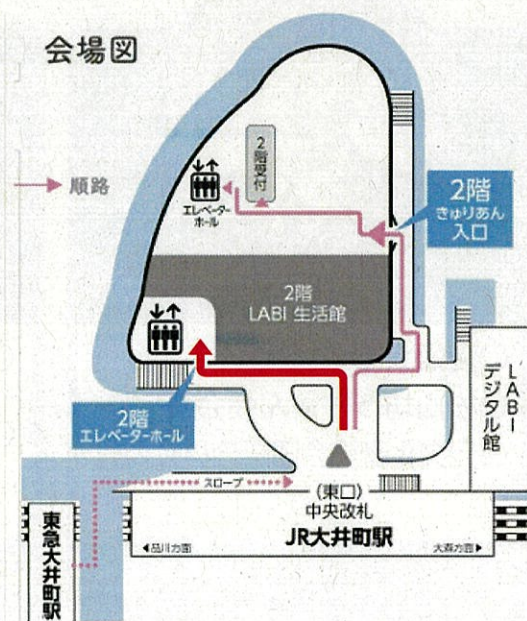
日本語の文字の課題と可能性 -言葉、文字・活字文化を見つめ直す-

「国語問題研究協議会」は、昭和25年以降、我が国の国語施策について、広く知っていただき、国語をめぐる諸問題について、改善の方法等を研究協議し、国語に対する関心を持っていただくことと、国語施策の充実に資することを目的とし、毎年度、開催してきました。令和7年度は、東日本地区・西日本地区合同で、東京の会場における対面形式による開催とし、有識者によるシンポジウムを実施します。学校の国語科教育に携わる方をはじめ、国語に関心のある方の御参加をお待ちしています。

会場

会場：「きゅりあん」7階イベントホール
会場住所：東京都品川区東大井5-18-1
JR京浜東北線・東急大井町線・りんかい線
「大井町駅」徒歩約2分

会場図



令和7年6月下旬以降、文化庁ウェブサイトにて参加申込を開始します

参加申込は以下のリンクからお願いします。(オンデマンド配信等の説明もあります。)

※希望者多数の場合は、定員に達した段階で受付を終了します。

https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kokugo_shisaku/kyogikai/index.html

